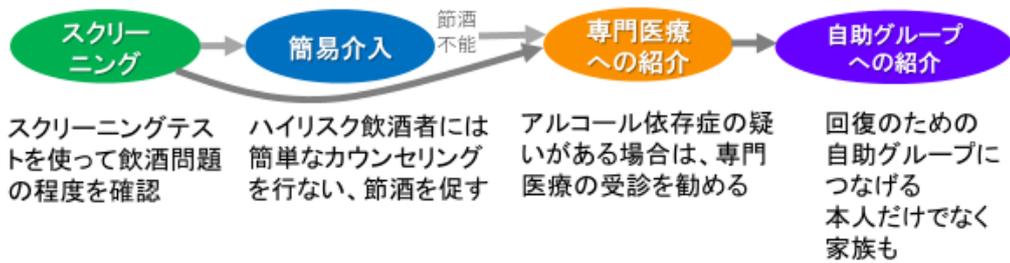


今、全国に広めよう！ <エスバーツ>

S B I R T S

Screening Brief Intervention Referral to Treatment & Self-help groups



SBIRTSの考え方

- ① Screening・スクリーニング・・・「飲酒度」を「ふるい分ける」AUDIT, KAST, CAGE等
 - ② Brief Intervention・・・簡易介入
“危険な飲酒”患者には、節酒を勧め、
“乱用”や“依存症”患者には断酒を勧める
 - ③ Referral to Treatment・・・専門治療への紹介
専門治療の必要な患者には「紹介」を行う
 - ④ Self-help group・・・自助グループへの紹介
医療機関や健康診断機関のスタッフが強力に自助グループへ紹介する
-
1. SBIRTは専門医療機関においては、早期発見から早期治療のためのコンセプトとして定着した手法であるが、SBIRTSは、これに自助グループ (Self-help-group) の「S」を連結した考え方である。
 2. アルコール依存症は進行性の慢性疾患であり、医学的治療の進歩により短期的予後は改善しても長期的な回復を持続することは難しい。
アルコール依存症の受診患者が順調な長期的回復を実現するためには、自助グループに参加することが望ましい。
 3. そのためには、治療にあたる医師が、積極的に、患者と自助グループの構成員との出会いの場を演出し、患者自身の持つ偏見を取り除き、自助グループへの抵抗を和らげるよう寄り添うことが大切である。
視点を変えれば、医師による治療のための出会いの場という側面と、自助グループによる医師への治療支援という二つの側面があるといえる。

SBIRTS普及促進セミナープログラム

- ・基調講演 講師「SBIRTSの解説と普及促進について」
- ・ワークショップ（ロールプレイ）
講師・SW（ソーシャルワーカー）等・患者・家族・断酒会員
- ・アルコール依存症対策（国の施策と地域における課題） 全断連
「受診後のアルコール依存症患者支援の推進に向けて」
- ・地域からの発表（1）当該地域医療機関医師
- ・地域からの発表（2）当該地域行政機関担当者
- ・シンポジウム「受診後の患者支援体制の構築とSBIRTSの展開」
精神保健福祉センター・保健所・専門病院医師・SW・断酒会員